2019年10月30日

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について
（ 2019年12月　検針分　）

2019年7月 ～　2019年9月　のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2019年12月 検針分の単位料金は、 2019年11月　検針分 に比べて、1㎥(45MJ)当り
▲ 0.18 円(消費税込)、標準家庭(26㎥)では月額　▲ 5　円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金　（消費税込）

	単位	(A) 2019年11月	(B) 2019年12月	(B)-(A)
A料金表 (0㎥～24㎥)	円／㎥	229.85	229.67	▲ 0.18
B料金表 (24㎥を超える)	円／㎥	170.79	170.61	▲ 0.18

●平均原料価格

	単位	2019年6月 ～ 2019年8月	2019年7月 ～ 2019年9月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円／トン	54,070	54,050	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円／トン	47,630	43,810	
平均原料価格	円／トン	53,980	53,770	46,100

平均原料価格＝LNG平均価格×0．9541＋LPG平均価格×0．0502　（10円未満端数四捨五入）

原料価格変動額　＝　平均原料価格　－　基準平均原料価格　（平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき）
＝　53,770　－　46,100　＝　7,600　円/トン
（100円未満端数切捨て）

●調整単位料金の算定
平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき
調整単位料金　＝　基準単位料金 ＋ 0.084×原料価格変動額÷100円×(1＋消費税率)　（小数点第3位以下の端数切捨て）

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2019年12月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)－(A)
A料金表 (0㎥～24㎥)	円／m^3	222.65	229.67	7.02
B料金表 (24㎥を超える)	円／m^3	163.59	170.61	7.02

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(㎥)	(A) 2019年11月	(B) 2019年12月	影響額 (B)－(A)
26	6,611	6,606	▲ 5

計算式･･･基本料金(税込)＋調整単位料金(税込)×使用量　(1円未満の端数は切り捨て)

筑紫ガス株式会社